

生活支援体制整備事業

平成29年11月から西区社会福祉協議会に
生活支援コーディネーターが配置されました！

生活支援体制整備事業とは

大阪市では平成29年現在、65歳以上の高齢者が4人に1人の割合となっており、高齢者人口は今後も増えていくと推計されています。そこで医療・介護サービスでは補いにくい“ちょっとした困りごと”を解消していくために、地域組織やボランティア、民間企業、社会福祉法人、NPOなど様々な団体が協力して支援を行う体制づくりが今後求められています。

生活支援・介護予防サービスの充実を進めることを目的として配置された生活支援コーディネーターが地域資源や困りごとの情報収集・開発等のコーディネート機能を担います。また、関係機関と情報共有し、連携を強化していく場（協議体）を設置します。

生活支援コーディネーターの役割



地域資源・ニーズ（困りごと）の情報収集

集える場・活動しているグループ等の情報を収集します。
生活の工夫や楽しみ・困りごとや不便に感じていること等をアンケート調査や聞き取りなど、関係機関とともに把握・分析していきます。



活動の場・担い手の発掘

空き店舗やマンションの集会所・企業の会議室など、高齢者が活動できる場所を開拓していきます。
高齢者が元気でいきいきと活動し、社会参加を楽しまれることは、介護予防にもつながっていきます。
それらの活動や支え合い活動をサポートしてくださる方も積極的に養成します。

地域資源・サービスの開発

高齢者や地域の方が必要としているサービスや仕組みを関係者とともに実現できるよう調整し、開発を目指します。

サービス情報等の周知

生活支援コーディネーターが集めた情報や生活に役立つ情報を必要な方々へいきわたるよう広く周知します。

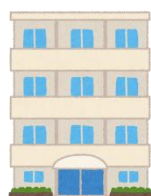
歩いて行ける範囲で体操が
できるところがあったら行
きたいなあ



近所の人と高齢者が集まれる場所を
作りたい。たくさんの人にきてほしい
なあ



空きスペースを何かに活用
できないかなあ

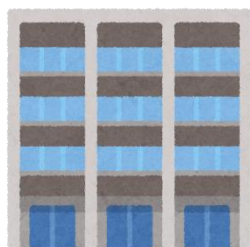


自分の趣味を活かして高齢者に
楽しんでもらえたらなあ

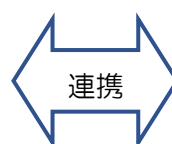
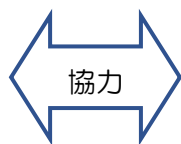


みなさんの思いをつなげます。

「あったらいいな」「やってみしたいな」を
生活支援コーディネーターに教えてください！



区役所



協議体

地域団体、ボランティア、社会福祉法人、NPO など様々な機関が参加し、
生活支援コーディネーターが把握した情報や課題の共有・話し合いを行い、
連携を強化します。

相談・情報提供・お問い合わせ

大阪市西区社会福祉協議会 生活支援コーディネーター（石井）
大阪市西区新町4-5-1 4西区役所合同庁舎6階
電話：06-6539-8075